



アオ儿ルは、都西で青くなる。

～君の“なりたい”を裏切らない、「夢かなふ都西」の日常。～

【未来を描く「道標（みちしるべ）版」】（制作：都城西高校広報委員会）

ご挨拶：夢に向かって走る君へ～今月も全力応援！～

（都西職員：広報委員長にっしー🍌）

中学生のみなさん、保護者の皆様、こんにちは！ 10月に入り、志望校選びや将来の進路について、具体的な疑問や不安が増えてくる頃ではないでしょうか。そこで今号の特集は、中学生や保護者の皆様からよくいただく素朴な疑問や気になるお金のお話まで、西高が分かりやすく解説します。進路選びの参考にぜひご覧ください！

特集1 ★☆☆その疑問、丁寧に答えします。☆☆☆

よく聞く『高校無償化』って何？本当にタダになるの？



学費に関する外部資料

A 「授業料が実質ゼロ（無償）」になる支援制度ですが、すべての費用がタダになるわけではありません。

国の就学支援金制度等により、高校の授業料は実質無償となります。ただし、高校生活では授業料以外にも費用がかかります。本校の**令和7年度の学校納入金は年間104,864円**です（県立平均：112,562円）。このほか、多くの高校と同様に制服（体育着・実習服代）、教科書代、各種検定料（英検等）、タブレット代などが別途必要となります（※本校は実習服費用はかかりません）。詳しい費用内訳やサポート制度については、いつでも気軽にお問い合わせください。

※学費は公表データ等を基にした概算の比較参考値です。志望校や学科・選択科目等により実際の納入金・購入品費用は異なります。なお、右上のQRコードでは、文部科学省やベネッセの詳しい統計データ等に移行します。参考にしてください。

西高って、文系の学校？それとも理系の学校？

A 「文理バランスの取れた文武両道校」、将来はだれかのドリー夢メーカーを目指します。

「西高＝文系」と思われがちですが、実は国公立大学の理系学部（医学・薬学・工学・農学・理学など）や理系私立大へも毎年多くの合格者を出しており、実際に理系の選択者の方が多いのが現状です。2年次から自分の志望に合わせて「文系」「理系」に分かれ、どちらを選んでも専任教員やAIを活用した手厚い指導が受けられます！

在校生の人数比は、
 2年生は普通科⇒文：理＝8：9 フロンティア科⇒文：理＝1：2
 3年生は普通科⇒文：理＝7：13 フロンティア科⇒文：理＝6：7

※「ドリー夢メーカー」とは？『いのちの授業』の腰塚勇人氏の言葉。先日、生徒・保護者対象の講演会でご提示いただいた概念で、「誰かの夢を応援し、ともに育む人」を意味します。本校の目指す温かい人間教育の土台となっています。

特集2 ～夢に挑むすべての受検生へ、都西からのエール！～



10月後半からの「新常識」！合格を引き寄せるスマート攻略法

「とにかく丸暗記！」「時間をかける根性論！」からはそろそろ卒業。限られた時間で成果を最大化するために、西高チームがおすすめるちょっと新しい受検アプローチを紹介します！

1. ノートまとめより「10秒音声解説」

間違えた問題をきれいにノートへ解き直すのは時間が勿体ない！スマホ（タブレット）の録音機能や声出して、「なぜ間違えたか」「正解の決め手」を10秒で自分に解説するほうが、脳に一発で定着します。

2. 教科書や授業の「なぜ？」を深掘りする

最近の入試で増えている記述や思考力問題は、丸暗記では太刀打ちできません。日々の授業や問題集の解説で「なぜこの式になるのか」「なぜこの出来事が起きたのか」と一歩深掘りする癖が、本番の得点力に直結します。

3. あえて「問題の途中」で勉強をやめる。

（ゼイガルニク効果）

キリの良いところまでやって終わると、次に机に向かうときにパワーが必要です。あえて「大問の途中」で休憩に入ると、再開時のハードルが劇的に下がり、学習リズムを保ちやすくなります。